

令和五年  
9月号

# 太陽の都

# だより



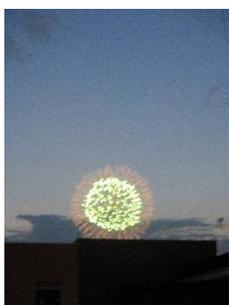
発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 大竹

## 行事報告

### ☆ 納涼祭

八月五日(土)、四年ぶりに当施設近隣の板橋花火大会が開催され、当施設でも「納涼祭」として利用様に屋上で花火大会を鑑賞して頂きました。ただし今回はコロナ禍前の「納涼祭」に比べかなり企画内容を縮小し、屋上での飲食の提供などはせず花火鑑賞のみと致しました。雰囲気を感じ上げるため、屋上で盆踊りの曲を流したり、ご本人の写真を使ったうちわを差し上げ、それをもって花火鑑賞されていました。ドーンドーンと響く音と共に打ち上げる花火をみて「うおー」「綺麗」などの歓声と共に「ありがとう」「いい花火を見せてもらって祈念になりました」などの感謝の言葉を頂けました。



## ☆ 流しそーめん

### 行事予定

#### ☆ 節分

二月三日は節分です。節分と言えば豆まきですね。施設の方でも行事レクリエーションとして豆まきを行う予定になっています。

節分と言えば年の数だけ豆を食べることは有名ですが、豆を食べる代わりに「福茶」を飲む習慣もあることはご存じでしょうか。福茶とは縁起の良い飲み物で正月などにも振るわれることがあります。節分は福豆(豆まき)に使う炒った大豆)・昆布・梅干しに煎茶や湯を注いで作ります。梅は健康や金銭、縁などに良い効果があるとされる縁起物で、昆布は「よるこ(ん)ぶ」にかけています。皆様も今年は福茶で一風変わった節分を過ごしてみたいかがでしょうか。

### 特集

#### ◎ 成人式

二〇二三年一月、「成人の日」の恒例行事となっていた「成人式」が変わりました。内容が変わった訳ではなく、名称が「二十歳のつどい」と変更して開催した自治会が多くなりました。これは二〇二二年四月から成人年齢が十八歳に引き下げられた事を受けての事です。そのためこれまで成人二十歳を前提とした「成人

式」が「二十歳の集い」と名称を変更し二十歳の方が集まったの式典として開催されました。

## 博栄会グループニュース

◎赤羽中央総合病院

コラム 「小児科・婦人科交換日記」

小児科の平井先生と婦人科の武谷先生が赤羽中央総合病院の日常を交代で綴るコラムです。

小児科部長

平井麻衣子先生

十二月にお返事を更新できませんでした。年末にかけて小児科外来では新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザ感染症患者さんが急増していました。どちらも高熱が出るので一見して見分けはつきませんが、コロナがどの痛みがメインであるのに対し、インフルエンザでは咳症状が強く出ている方が多いです。当院では十二月からインフルエンザA、B、新型コロナウイルスを同時に検査できる迅速抗原定性検査が導入されたので、鼻に綿棒をぐりぐりする検査が一回で済むのでお子さんの負担は少なくなりました。一点注意が必要なのが発熱直後ではまだウイルス量が増えていないので、かかっているも迅速抗原そのため検査をするタイミングが重要になります。正確性のある検査をするには発熱から十二

時間以上経過して検査を行うことが望ましく、どの検査をいつ行うのかについては外来を受診された際に個別にご相談させて頂いています。小児科発熱外来では待合室で患者さん同士が感染症をもらわないように、感染対策として屋外の待機場所あるいは車の中で診察待ちをして頂いています。寒い中待っていただくことを心苦しく思いますが、なるべく待つことなく診察ができるよう素早く対応してゆきますので、ご理解いただけると幸いです。



### 「その頭痛、防げます」

婦人科外来を受診される患者さんで、頭痛を訴える方が多くいらっしゃいます。最近の日本のデータでは、片頭痛は二十代で最も多く、女性は男性の四・四倍、医師の診察を受けていない人の割合は八十一・〇%でした。多くの頭痛に悩む方が受診せずに頭痛に悩んでいるということです。その一方で、片頭痛の治療は日々進歩しています。予防薬には飲み薬もありますし、今年新薬として注射薬が承認されています。注射薬はとても効果があり、月に一回の注射で、片頭痛発作をかなり抑えることができます。今までの治療薬であるトリプタン製剤のような血管への副作用はありませんが、注射の際の痛みや費用がやや高いことがデメリットです。当院でも注射製剤が採用され、多くの患者さんで劇的な効果がみられています。

使用できるのは、予防の内服薬で効果がない方など、適応がきまっていますので、希望の方は当院の場合、脳神経内科へ受診してください。片頭痛発作の際の治療薬も新薬が発売されています。今までの治療で効果がなかった方も、合う治療が見つかるかもしれません。お近くの脳外科、脳神経内科、頭痛外来などを受診されてみてはいかがでしょうか。

